

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	職業指導 (Vocational Guidance)		
ナンバリングコード	K31001	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期(工学部)・後期(経営経済学部)
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(工業)、高等学校教諭一種免許状(商業)		
授業コード	K003151	クラス名	経営経済学部
担当教員名	長須 正明		
履修上の注意、 履修条件	常に教育の動向や経済社会の変動を把握すること。 課題は期限内に提出すること。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	なし		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	高等学校における進路指導は、学校の教育活動全体を通して計画的・組織的に行い、生徒に自己の進路を主体的に選択・決定する力を育て、生涯にわたって自己の持つ能力や適性が生かされて充実した人生となることを目指している。講義では、高等学校の進路指導で行われている活動の具体例を通して、進路指導を理解するとともに、進路指導に携わる教師に求められる資質を学ぶことを目的とします。						
授業の概要	高等学校の進路指導がかかえる課題を概観し、この指導が展開される根拠法令を確認する。あわせて、進路指導の意義と進路指導を達成するための教育課程、進路指導を行う校内組織と教師の役割について理解する。また、高等学校現場での進路指導の具体的な活動を取上げ、実務の一部を学び、進路指導が高校生一人ひとりの人生の「生き方」に関係する指導であること、教育そのものであることを学ぶ。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>該当なし</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	該当なし
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	該当なし						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】			5点	5点
【知識・理解】		60点		
【技能・表現・コミュニケーション】			5点	5点
【思考・判断・創造】		10点	5点	5点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
成績評価方法: 評価の実施方法と達成水準の目安 レポート・作品等(提出物): 課題の提出状況や内容をもとに評価 発表・その他(無形成果): 自分の考えを的確にまとめ発表することができるかどうか				

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：職業指導 (Vocational Guidance) 担当教員：長須 正明	授業コード：K003151	○授業計画	科目名：職業指導 (Vocational Guidance) 担当教員：長須 正明	授業コード：K003151
学修内容			学修内容		
1. 高等学校の教育と教育に関する法規 現代の高等学校教育の実情を概観し、教職をめざす立場から、教育問題に関心を持たせると共に憲法・教育基本法など学校教育と法規の関係を理解する。			9. 個人理解に関する活動 生徒の自己実現を可能にさせるには、なによりも個々の生徒の能力・適性などを教師が的確に把握するとともに、生徒自身にも自己を理解させることが大切である。生徒理解のあり方、方法などについて理解する。		
予習： (約2.0h) 復習： 課題の文章を読み、進路指導の意義を考える。(31分)進路の意義で活用 (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： 「性格は変えられる」(1時間)討論 (約2.0h)		
2. 進路指導及びキャリア教育の意義・基本理念 教育改革が進行する中、改革の重点と進路指導との関わりを考察したい。特に「生きる力」の育成や「心の教育」の実践、「学校・家庭・地域」の連携が大きく問われているが、改革動向と照らし、進路指導の意義と基本理念を探求したい。			10. 進路情報に関する活動 進路指導では、将来の進路の世界についての状況を、適切に学ぶことが重要である。進路指導に役立つ情報の種類や生徒等への提示方法について考察する。		
予習： (約2.0h) 復習： 作文「私を成長させた先生」(1時間)教師に資質で活用 (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： 高校時代の就業体験のまとめ(30分)啓発的経験で活用 (約2.0h)		
3. 教育課程と進路指導 進路指導は、各教科・科目を含む教育活動全体を通じて、教職員が協力して、計画・実践する教育活動である。教育課程と進路指導の関係を歴史的な経緯も含め解説する。			11. 啓発的経験に関する活動 進路指導では、生徒に自己理解を深めさせることや、進路情報をよく理解させることが大切であるが、ややもすると、抽象的・観念的になりがちである。生徒の抽象的・観念的な自己理解や進路情報を具体的・現実的なものとする方策を考察する。		
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： 相談事例への対応を考える(1時間)進路相談で活用 (約2.0h)		
4. 進路指導に関わる教師の資質と役割 進路指導は、生徒の人生に深くかかわる教育活動であることを確認し、この変化の激しい時代を生きる生徒を指導する教師にはどのような資質や能力が求められているかを考察する。			12. 進路相談に関する活動 進路指導は、「個に始まって個に終わる」と言われる。生徒個々への指導を徹底することが重要である。その代表的形態が進路相談である。進路相談の手法について理解する。		
予習： (約2.0h) 復習： 来校者や電話の対応を通して、学校や組織の運営を考える。(30分)進路の組織運営で活用 (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： 就職推薦文を作成(1時間)就職指導で活用 (約2.0h)		
5. 進路指導における組織と運営 進路指導は、全教師の組織的・計画的な活動によって推進しなければならない。校内における進路指導体制、進路指導における各教師の役割、校内組織や管理・運営のあり方を考察する。			13. 就職について 就職全般について、就職に至るまでの指導、事後指導、追跡調査、転職などについて教師の立場と役割について更に就職用推薦書を考察する。		
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)		
6. 進路指導の計画と実践 進路指導は、生徒の将来の職業生活を通じた生き方に関わる指導であり、人生設計や生き方の指導である。学校では組織的・計画的に行わなければならないものである。ここでは、学校の進路指導を効果的に推進するための指導計画の立案のあり方を考察する。			14. 進学について 工業科目を履修する生徒の、進学先とその後の展望について考えるとともに、進学用推薦書の書き方を考察する。		
予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)		
7. 特別活動における進路指導 学校で進路指導を主に進める場合は、ホームルーム活動と勤労生産・奉仕活動である。ここでは特別活動の目標・性格・内容を吟味しながら、ホームルーム活動や学校行事での進路指導の計画作成、指導の展開について考察する。			15. 期末試験 高等学校においては、「生き方」の指導としての進路指導の重要性が強く指摘されている。生徒の価値観や経済社会の状況から多くの進路指導上の問題が生じてきている。進路指導の今後の取り組みや課題について考察する。		
予習： (約2.0h) 復習： 学年初めの学級扱い展開案作成(1時間)指導案作成で活用 (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)		
8. ホームルームにおける進路指導の展開 ホームルーム活動で進路指導を実践する場合の「指導案」を作成する要領を具体的に説明し、指導案を実際に作成検討する。			16. 期末試験 ・試験範囲は、第1回から第15回までの講義内容です。 ・配布した用紙1枚のみ、持込を許可します。		
予習： (約2.0h) 復習： 作文「私の親友」(1時間)人を知る、推薦文作成で活用 (約2.0h)			予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)		